# おかげさまで100周年　感謝

弊社は1919年（大正8年）、伊勢伊喜松が創業し、日本で初めて便器用フラッシュバルブの試作に成功、併せて複式ボールタップを完成させ、水道業界に普及させました。又、フラッシュバルブの構造を応用したＦ号ボールタップ（定水位弁）を考案、昭和17年に実用新案を取得し、広く社会に貢献して参りました。

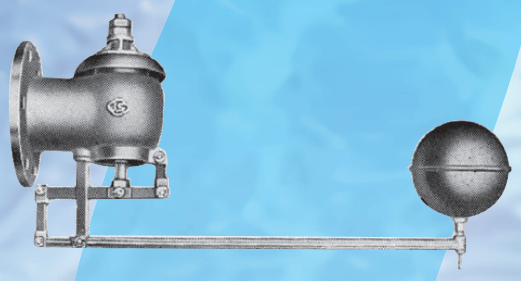
## 創業 1919

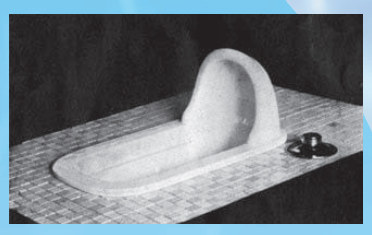
創業者
**伊勢伊喜松**

伊勢伊喜松が日本において初めてフラッシュバルブの試作に成功し併せて単式ボールタップの製造を開始し、新たに伊勢式（複式）ボールタップを完成させて水道業界に普及させた。

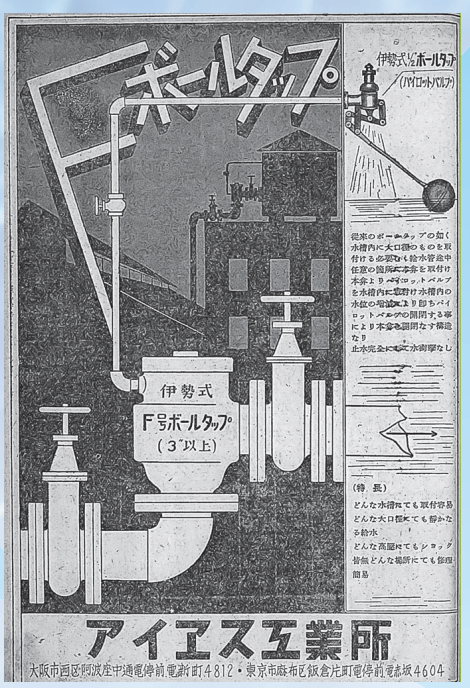
工場及び営業所が戦災で焼失したので終戦後、
大阪市城東区鴫野東3丁目5番13号において同事業を継続する。

法人組織に改め「株式会社アイエス工業所」大阪市浪速区河原町に設立し、主として各種ボールタップの製造販売を行なうと共に給排水衛生設備工事部を設け水道工事業界にも進出する。





衛生工業協会誌第17号1943年（昭和18年）1月
複式ボールタップとフラッシュバルブの広告




衛生工業協会誌 第17号1943年（昭和18年）2月
F号ボールタップ（日本初の定水位弁）の広告

2019年6月 一般社団法人 建築設備技術者協会により
建築設備技術遺産 第34号の認定を受ける

**大正８年から現在まで、長年に渡り弊社をご支援いただいた皆様に厚く感謝申し上げます。**
**私たちは、次の100年も技術を研鑽し、創意工夫を重ねて、社会への貢献を果たして参ります。**
**皆様、今後とも弊社をよろしくお願い致します。**

創業1919年
株式会社 アイエス工業所